

学校目標『元気いっぱい 自分から学び 共に高め合う西与賀っ子』の育成



にしよかっ子

令和 8月 4月21日(火)
文責 校長 大石 文枝 第2号
☎ 0952-23-6300



㊦ここにあいさつする子 ㊧しっかり勉強する子 ㊨よろこんで働く子 ㊩からだをきたえる子 ㊪ながり学び合う子 ㊫ころをみがく子

■ 学習の基盤を、読書で培う

子供さんは、どれくらい読書に浸っているでしょうか。即効性はないのかもしれませんが、長い目で見ると、子供の学習の力を高めるには、読書をするのが一番、効果的だと思っています。ちょっとぐらい今、テストの点数がよくなくても、読書をしていると語彙力が豊かになり、読解力などの国語の力がついていきます。そして、国語の力は、全ての教科の基礎となります。算数でも理科・社会でも教科書やテストは全て文章で説明されていますので、読解力が

ないと問題の意味が理解できません。私が担任や算数TTをしていたときに、算数の文章問題を読んで、すぐに「書いてある意味が分かりません」という子がいましたが、たいていは文章の読解が苦手な子でした。だからこそ、読解力をつけさせなければと思うのです。もちろん、読書は、いろいろな教科に必要な読解力と語彙力をつけるだけでなく、幅広い知識も身に付けることもできます。例えば、教科での学びをきっかけとして、自分が興味をもったことについて、深く調べたいと思ったとします。興味をもった関連の本を読み進めることで、新たな知識が更に、身に付いていきます。このような幅広い知識の蓄積は、すぐに必要なものではないかもしれませんが、きっと将来において役立つことにつながるにちがいありません。

学校では、今年も読書を推進していきます。朝8時から始業の8時15分までは、読書をして過ごします。15分でも集中して読み浸れば、気持ちを落ち着いた朝のスタートも切れます。8時には読書タイムをできるように、登校させてください。また、ご家庭でも読書を勧めてください。長い時間でなくてもよいのです。1日10分でも15分でもいいので、毎日、読書の時間を取るようにお声かけをしていただけたらと思います。また、週末など時間があるときには、読み聞かせなどの親子読書ができれば最高だと思います。始めは少し億劫でも、続けるうちにいつの間にか読書が習慣化し、読書が好きになっていたなんてことになるかもしれません。そうなったら、もうけものです。学校だよりの第1号に書きましたが、新年度になりましたので、新たなことに挑戦してはいかがでしょうか。



■ 令和8年度 始業式

学待ちに待った新学期。7時半には、たくさんの子供たちが昇降口の扉が開くのを今か今かと待っていました。扉が開き、中に入るや、靴箱に貼り出されているクラス分けの表を覗き込み、わーっと歓声を上げていました。友達と同じクラスになれたのか、そうでなかったのか、子供それぞれにドラマがあるようでした。

そして、もう一つのドラマは、始業式の中にありました。そうです。担任の先生の発表です。実は、朝、登校した子供たちが交通指導をしに行こうとしていた私のそばにわざわざかけ寄ってきて、挨拶もそこそこに、「校長先生、〇年〇組の担任の先生は誰ですか?」と尋ねてきます。もちろん、「あとのお楽しみ」とだけ伝えましたので、心待ちにしていることは、間違いありません。1年間の始まりなので、こちらも始業式の話は、気合いを入れて準備したのに、話を聴く時には、気もそぞろな様子の子供たち。仕方ありません。担任の魅力には、校長はかないませんから……。児童代表の6年生が教科書を受け取った後は、事務室を含めて業務の都合がつく全職員が子供たちの前に勢揃いしてスタンバイ。いよいよお待ちかねの担任等の発表です。目を輝かせて、私が発表をするのを固唾をのんで待つ子供たち。私が、教頭先生は……教務の先生は……事務室の……〇年〇組の先生は……と紹介するとそれぞれの先生方に大きな拍手をして喜びを表現していました。そんな温かい子供たちの様子を見ていて、私たち職員は、子供たちのために任された役割や業務を責任をもってやっという心で誓いました。

■ 赴任式

3月24日に辞任式を行い、13名の先生方にこれまでお世話になった感謝の気持ちを伝えました。お世話になった先生方とのお別れは、とても寂しいものでした。しかし、4月7日の新学期初日には、嬉しいことに新しい先生をお迎えする赴任式を行うことができました。子供たちは、新しく赴任してこられた先生方を前に、わくわくした様子と期待を込めたまなざしを向けていました。全校児童を代表して6年生が歓迎の言葉を伝えました。代表の子の凛とした姿勢とはっきりした声で、先生方お一人お一人の名前を呼び、西与賀のよさや特色を言葉にのせて語りかけるその様は、体育館中を温かい雰囲気包んでくれました。



歓迎の言葉を言う6年生

■ 入学式

来賓の方々と保護者の皆様に見守られながら、真新しいランドセルを背負い、西与賀小の門をくぐった今年度の1年生は全部で58名です。みんな、にこにこ笑顔で元気に登校しました。入学式では、よく話を聴いていて、話に合わせて「ありがとうございます」のお礼や「はい」の返事も上手にできました。「やる気」「やさしさ」「元気」の種を私から受け取る時には、「前に手を出して受け取りましょう」の促しにも素直に応えてくれました。

また、「まちガエル(間違える)」「ふりカエル(振り返る)」「かんガエル(考える)」の3匹のカエルも登場し、1年生の入学に花を添えてくれました。「まちガエル(間違える)」ことを恐れず挑戦し、立ち止まって「ふりカエル(振り返る)」、そして、よりよいものになるように「かんガエル(考える)」、1年生には、この3匹のカエルと仲良くなりながら、大きく成長して欲しいと思います。

入学式を終え、全校児童332名がそろいました。全ての教室から、明るい声が届き、響き合っています。

1年生の入学に合わせて、「ランドセルカバー」、「交通安全のワッペン」、「黄色い傘」、「防犯ブザー」などが各種団体から贈呈されました。入学式後の週明け、登校した子供たちは、早速、贈呈されたものを身に付けていました。ありがとうございました。



児童代表で歓迎の演技をする6年生

■ 4月13日 1年生、登校

入学式は、金曜日で、入学2日目は、4月13日、週明けの月曜日。どんよりとしたお天気で、時間帯によっては少し雨もぱらついていて、1年生は、どんな様子で登校するのかと思っていましたが、泣き出す子供もいなくてほっとしました。兄弟姉妹に見守られながら仲良く手をつないで登校してきた子もいました。また、近所の上級生と一緒に登校してきた子もいました。また、おうちの方もたくさん、学校の門や昇降口まで一緒に歩いてくださっていました。学校西側の横断歩道に立ち、1年生に「おはようございます」と声をかけると、元気に「おはようございます」と挨拶が返ってきました。早速、ランドセルの中に「やる気」と「元気」を入れて登校してくれたようで、嬉しく思いました。1年生の背中を見送りながら、「友達と仲良くして、いい一日を過ごせますように」と願いました。

■ 代表委員会「尊重」の姿

5月24日(日)は、運動会の予定です。今年度第1回の代表委員会の議題は、「運動会を盛り上げる方法を考えよう」でした。運動会を成功させるために、4年生から6年生の各学級の代表は、積極的に意見を出し合っていました。なかでも今年のスローガンを決めるときには、「あの学級のあの言葉は、納得したなあ!」「でもどうしたら、まとめることができるかな?」などと、それぞれの学級の意見を尊重しながら、話し合いを進めていたのが素晴らしいと思えました。それで、決定したのが「一致団結し、勝っても負けても最後まであきらめないでがんばろう」でした。互いの意見を承認・尊重しながら、合意形成をする姿が見てとれました。